8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 594
令和元年５月号

発行所　全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話　03-3501-5611(代)
発行人　小林　勉
定価　20円（会員の購読料は会費に含む）

長期安定的な道路整備・管理の推進を！

全国道路利用者会議理事会開催

全国道路利用者会議は、去る4月26日（金）東京千代田区の霞が関ビルにおいて理事会を開催し、5月15日（水）開催の第71回定時総会の附議事項について審議した。

古賀誠会長、池田豊人道路局長の挨拶に続いて、道路局より最近の道路行政を取り巻く状況等について説明を受けた後、議事に入った。

議事では、楠瀬賢一副会長（高知県道路利用者会議会長・高知県ハイヤー・タクシー協議会会長）が会長の職務を代行して議長を務めた。

はじめに第71回定時総会の附議事項である平成30年度事業報告及び収支計算書が審議され、続いて、役員の改選、平成31年度事業計画及び予算書、さらに各地区から提出された要望事項に基づいた決議案が審議され、原案のとおり承認され総会へ附議されることとなった。

また、10月17日（木）に宮城県で開催予定の全国大会の準備状況について、千葉衛宮城県土木部道路課長より報告がされた。

古賀誠会長

《古賀誠会長挨拶》

全国各地から理事の皆さんにはご参集いただき、心からお礼を申し上げますと同時に、平素より全国道路利用者会議の各般の事業に積極的なご支援とご協力を賜わっておりますことにも、あらためてお礼を申し上げます。

ご案内の通り、本年度の予算も3月27日に成立いたしました。当初予算101兆4，571億円で、初めて100兆円を超えた大変大きな予算になっております。その中には、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として1兆3，475億円が計上されております。

引き続いてこれらの道路関係の予算を、着実に伸ばし、そして安全・安心、道路は国民の命であり、そして国の力だ、という全国道路利用者会議が設立された時の、先輩・先人の遺訓を私達はしっかり守り、そして発展させていかなくてはならないと思っております。

同時に私が会長に就任以来、全国道路利用者会議の組織というものについて、道路を利用している側の声をどう聞き取り、そしてそれをどう反映していくのかという部分が若干マンネリ化し足りないのではないかと思っておりました。そういった中で、トラック、バス、ハイヤー・タクシー、とユーザーを代表する方々にも入会いただき、組織を拡充すると同時に、ユーザーの方々が何を道路整備に求めているのか、何が足りないのかということをお互いに協議して、この全国道路利用者会議の組織をしっかりしていきたいと思っております。

「令和」の元号がはじまります。先人や先達の思いを新しい元号になった時代も私達はしっかりと引き継いでいき、国民の期待に応えていく全国道路利用者会議として、新たな気持ちで臨んで参りたいと思います。

決　議（案）

地方創生及び国土強靱化を推進し、ストック効果を早期に発揮させるため、道路利用者の意見を十分反映しつつ、次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

一、東日本大震災や熊本地震等による被災地の速やかな復旧・復興
一、防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策を着実に実施するための予算の確保
一、ダブルネットワークの構築など国土強靱化に資する社会資本整備予算の確保
一、予防保全を含む道路の老朽化対策に必要な予算の別枠確保
一、高規格幹線道路等の未整備区間の解消及び四車線化・六車線化の早期実現
一、高速道路料金の事業者向け割引の継続
一、スマートIC整備やSA・PA、道の駅の機能強化及び交通ターミナルの官民連携での整備推進
一、トラック、バス、タクシー等の利用者目線での渋滞対策の促進
一、生活道路等の安全対策及び無電柱化の推進
一、新たな広域道路交通計画の早期策定と重要物流道路の更なる指定・重点整備及び特車通行許可の迅速化

長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、平成三十二年度道路関係予算は、所要額を確保すること。

平成三十一年五月十五日

全国道路利用者会議
第七十一回定時総会

令和元年5月12日（日）開通

鳥取西道路
鳥取西IC～青谷IC

～鳥取西道路が全線開通！～

国土交通省が整備を進めてきた鳥取西道路（鳥取西IC～青谷IC）が令和元年5月12日（日）に開通しました。

【開通日】
令和元年5月12日（日）

【開通区間】
鳥取西道路（鳥取西IC～青谷IC）／17.5㌔

【開通による整備効果】

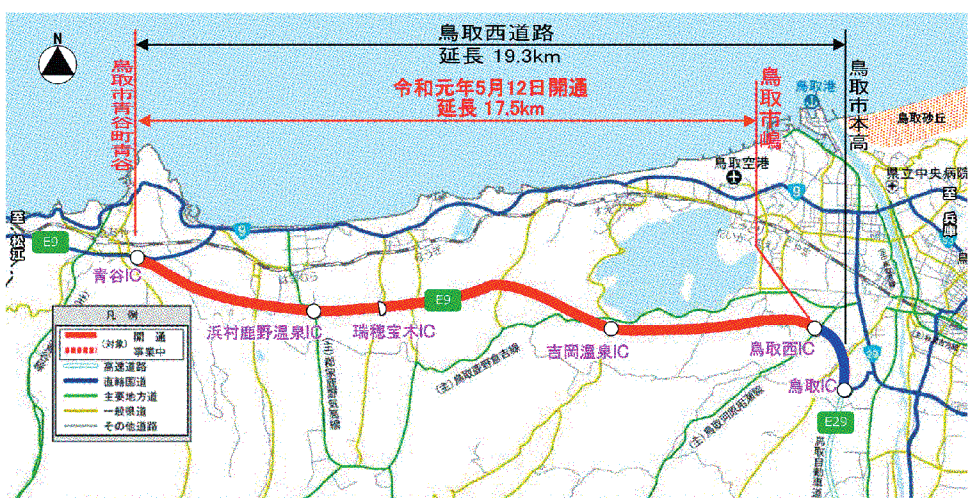
◇主要都市間の移動時間の短縮
鳥取西道路の整備により、鳥取県内の主要都市間の所要時間が短縮し、相互の地域間交流の活発化、人流・物流・産業の活発化等による地域経済の発展が期待される。

◇通行止めによる大幅迂回の解消
鳥取西道路の整備により、並行現道における災害発生時の通行止めによる大幅な迂回の解消が期待される。

◇救急活動支援
青谷から第三次救急医療機関である県立中央病院（鳥取市）までの搬送には、渋滞等により到着に時間を要しているが、鳥取西道路の整備より、迅速な救急活動が期待される。

◇地域観光振興の支援（周遊性向上）
鳥取西道路の整備により、鳥取中部地域へのアクセス性が向上し、減少傾向にある鳥取県中地域の入込客数の増加が期待される。

◇沿線地域への立ち寄り増加
鳥取西道路の整備により新たにICが整備され、吉岡温泉へのアクセス性が向上し、温泉入浴客の増加や温泉街の更なるにぎわいが期待される。



平成30年度
「道路ふれあい月間」
推進標語

『きらきらの
この道ずっと
守ろうよ』

“道路総合システムサービス”企業

NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL 03(3265)1511代表